

# 第35回みらい水回り学生論文賞 募集の案内

## みらい水回り学生論文賞審査委員会

第35回「みらい水回り学生論文賞」（橋本総業株式会社と本研究会共催）を募集します。論文内容は、下記のテーマで、みらい水回りに関する技術と提言・提案を期待しています。内容によっては、審査後に応募者と協議の上、具体的な開発－改良等の試作・実験・研究、事業等への発展の可能性もありますので、奮って応募してください。

学生には、柔軟な発想による提案を期待するとともに、給排水設備の面白さ・深さ・重要性などを考えてください。

### 1. 今回のテーマ

今回より、今までの「自由テーマ」に加え、「主催者からの指定テーマ」を制定します。テーマを絞り具体化しやすくしました。審査は同基準で実施します。

#### (1) 自由テーマ

「みらい水回り」（「近未来の給排水設備」、「橋本総業七つのみらい」）をテーマとします。以下の中からテーマを選択し、タイトルと内容を考えてください。

「みらい水回り」（環境・エネルギー、リフォーム・コンバージョン、健康・快適、安心・安全、地域活性化、グローバル化・アジア展開、IT化（IoT、AI、ビッグデータ、ネットビジネス）、人材育成・活用）に関する、技術（システム・機器）または提言・提案（考え方、構想、プロジェクト、商品企画）。

#### (2) 指定テーマ

「レジリエンス」、「イノベーション」、「(水に関わる) コンテナハウス」に関するより具体的な技術（システム・機器）または提言・提案（考え方、構想、プロジェクト、商品企画）。

### 2. 応募資格

本会の学生会員または本会会員の教員が指導する研究室または関連する研究室に所属している学生（留学生を含む）、複数の学生グループ、社会人（アドバイサー）と連携するチーム。

### 3. 賞

論文審査規定に基づいて総合的に審査し、次の賞を決定する。

最優秀賞	10万円	1点
優秀賞	5万円	2点以下
アイデア賞	3万円	2点以下
努力賞	2万円	若干
審査員賞	1万円	若干

最優秀賞の論文は、JSPE会誌「給排水設備研究」に全文掲載する。

各賞は、受賞者なしとする場合がある。

受賞の数は、増減する場合がある。

### 4. 審査委員

審査委員長	小瀬 博之	JSPE会長理事（東洋大学総合情報学部 教授）
副委員長	橋本 政昭	JSPE特別顧問（橋本総業株式会社 代表取締役会長）
審査委員	大塚 雅之	前JSPE会長理事（関東学院大学建築・環境学部 教授）
須賀 良平	JSPE副会長理事（株式会社クボタケミックス CS推進部担当部長）	

### 5. 応募規定

#### (1) 論文提出期限

令和7年12月12日（金）（当日消印有効）

## (2) 応募論文

未発表のものに限る。なお、論文の著作権は主催者に帰属する。

応募は1人（1グループ・チーム）1点とする。

応募論文は返却しない。

応募者が所属する学校名・研究室名・指導教員名等は、下記「(8) 論文添付書類」に明記し、論文本文に記入してはならない。

## (3) 提出書式

論文タイトルを明記する（必要に応じてサブタイトルを設けてもよい）。

提出物はコンセプト・コンテンツ・説明内容で構成されるが、フォーマット等は自由とする。ただし、基本的な論文体裁は遵守すること。

英文論文での応募も可とする。

提出用紙のサイズ・ページ数は自由とする（例えばA4版を想定した場合、1頁40文字40行程度で1段組とするなど）。説明用の写真・図面・表・式などを適宜に用いてよい。ホームページ等を含む引用文や参考文献は、必ず明記する。とくに引用文献は、本文中等にもわかるように記し、著作権に十分留意する。

## (4) 質疑

テーマに関する問い合わせには、一切応じない。

## (5) 発表

審査結果は、応募者に通知する。

## (6) 表彰

JSPE通常総会後の懇親会（令和8年5月予定）において、各賞受賞者へ表彰状・褒賞を授与する。なお、学生会員になっていないものへの受賞が決定した場合、本会の会員となることを原則とする。

## (7) 論文提出先

下記宛てに、「みらい水回り学生論文賞」と明記して郵送する。

NPO給排水設備研究会 事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-5-12 SK飯田橋ビル2階

(TEL: 03-3234-2106)

## (8) 論文添付書類

論文とは別に、用紙1枚に下記内容を記載して同封する。

・論文投稿者について（個人情報は当該目的以外には用いない）

氏名（フリガナ）、現住所、電話番号（含む携帯電話）、メールアドレス、所属する学校名・研究室名・指導教員名・研究室電話番号、学年、会員・非会員の別、「みらい市スチュードントシンポジウム」への発表の意志

・緊急速絡先について

休暇時期に連絡する場合があるので、帰省先などの電話番号を記載する。卒業等によって住所・電話番号が変わった場合は、表彰式の案内もあるので、事務局宛に連絡する。なお、連絡先が不明の場合、受賞が無効となる場合がある。

## 6. 論文審査規定

論文は以下の項目から審査する。

課題の対応性：テーマに沿った内容であるか

創造性：引用等ではなく、独自の視点であるか

発展性：実現の可能性があるか、コストパフォーマンスが考慮されているか

表現・水準：論文として適切な表現・レベルであるか

なお、「基本的な論文体裁が遵守されていない場合は減点を」「英文論文で応募の際は加点を」検討する。

以上